

# エコチルひょうご 稲村和美尼崎市長の 座談会



エコチル  
5周年記念

## エコチル調査について

**島センター長** 環境省が行っている「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」が平成23年1月にスタートしてから、ちょうど5年が経ちました。本日は、調査対象地域である尼崎市の稲村市長様、調査に参加されているお二人と調査スタッフにお集まりいただき、エコチル調査と尼崎市の未来についてお話しいただきたいと思ひます。



**稲村市長** ちょうど私が市長に就任した頃にエコチル調査がスタートしたのでしたね。

**島センター長** そうです。市長様には最初からエコチル調査のサポーターとしてご支援いただいております。この調査は、お子さんがお母さんのお腹にいる時から生まれて13歳になるまで、長期間にわたって定期的に健康状態を確認させていただき、環境要因が子どもたちの成長・発達にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的としています。全国15地区で調査を行っておりますが、兵庫県では尼崎市が調査対象地区となっており、兵庫医科大学が担当させていただいております。最初の3年間で妊娠中の女性にお願いして調査に参加していただき、全国で10万人余り、尼崎市では5189人の妊婦さんが参加していただきました。既に皆さんが出産されており、いちばん早くお生まれになったお子さんは4歳半になっています。

**稲村市長** 私も娘が一人おまして、今は小学校4年生ですが、なかなか言うことを聞いてくれません。日々言い合いばかりしていますが、喧嘩するほど仲がいい親子みたいな感じです。

この調査は長期間にわたるので、サポートするスタッフの皆さんも協力する方も大変だと思います。継続し続けることが大事です。まだまだこれから先が長く、こんなに本格的にいろいろな要素を調査するというのも、今までに例がなく、市としても、一人の母親としても出来る限りの応援をしたいと思っています。

調査って難しいんですね。科学的に一つのことを言うのに、たくさんのことを整えないといけないという話を以前に島先生に聞いたことがありますが、とても難しいと思っています。今アレルギーの問題とか、解明出来てないことがいっぱいあって、100%ははっきりとわかるわけではなくても、少しでも私たちが気を付けていきかけになるんじゃないかとすごく期待をしています。一緒に取り組んでいきましょう。



## 子育て環境に恵まれた尼崎市

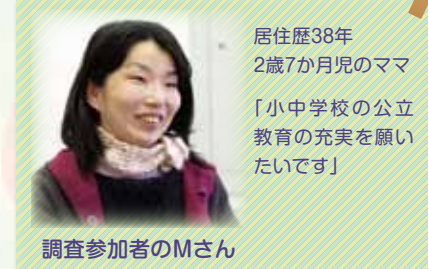
**溝上** 私はコーディネーターとして、参加者の皆さまと触れ合う機会が多いのですが、尼崎市の子育て環境はいかがでしょうか。

**参加者Mさん** 私の住んでいる所から徒歩5分位の所に小児科病院が2つあって、何かあった時にいつでも子どもを担いでいけることができます。また、市全体が平地ですのでどこでも自転車で行くことができます。また、尼崎市はバスが多く走っていますので、妊娠中もどこにでもバスで行くことができました。

**稲村市長** 私も全く一緒です！ 普段はいつも自転車ですが、妊娠中はバスを利用していました。バスってありがたいって。

**参加者Kさん** 尼崎は6歳まで医療の助成があるのがいいと思います。それにこんなにきれいな女性の市長が女性の立場で、しかも母親目線で尼崎市を発展させてくれるのではないかと期待しています。

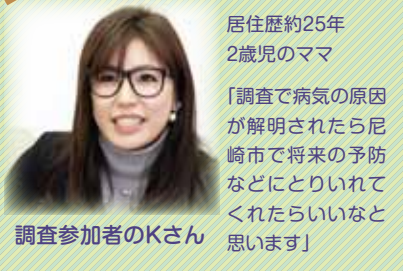
**稲村市長** ぜひ頑張りたいと思ひます！ 私も病児保育とかお世話になっているので、そういう連携があるのとないのとでは子育ては全然違いますよね。



**参加者Kさん** そう、実際に母親になってわかることもたくさんあったので、母親でもある女性が市長というのはうれしいです。

**稲村市長** これからもいっぱい色々皆さんの声も聞きながら頑張りたいです。

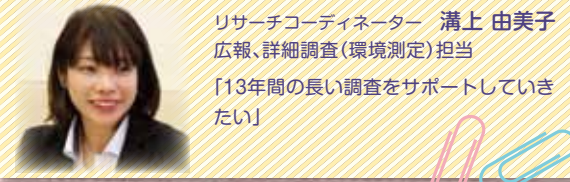
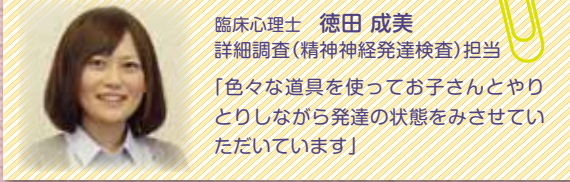
**徳田** 私はお子さんの発達検査を担当していますが、尼崎市ではお子さんの発達に関心の高いお母さんが多い印象です。周りの同年代のお子さんと比べてしまったり、逆にいなくてわからないなど、様々な悩みがあるようです。そうした悩みにできるだけお答えしたいと思ひています。



## 大きく変化している環境と子どもの健康

**島センター長** エコチル調査で得られた結果によりますと、1歳から3歳までの間にぜん息のお子さんが少しずつ増え、3歳では約13パーセントになっています。3歳では14パーセントのお子さんにアトピー性皮膚炎もあります。アレルギーと環境との関係が指摘されていますが、環境が悪かった昭和30～40年代に比べて、今のほうがぜん息やアトピー性皮膚炎は多くなっています。また、大気汚染などの環境問題が深刻な発展途上国は先進国よりもアレルギーの病気が少ないこともわかっています。

**稲村市長** うーん。おかしいですね。



## 日本の子どもは睡眠時間が短い

**島センター長** また、エコチル調査に参加されている3歳のお子さんの7パーセントは10時間未満しか寝ていないということが今年1月の全国シンポジウムで発表されました。3歳児の場合、推奨される睡眠時間は10時間から13時間なのですが、日本の子どもは睡眠時間が短い傾向があるといわれています。

**稲村市長** うーん。親の労働時間を短くしないといけませんね(笑)。

**参加者Kさん** ババと遊びたいですしねえ。

**参加者Mさん** うちの体質的に短くてもいける感じです。2歳ですけど昼寝はしませんが。

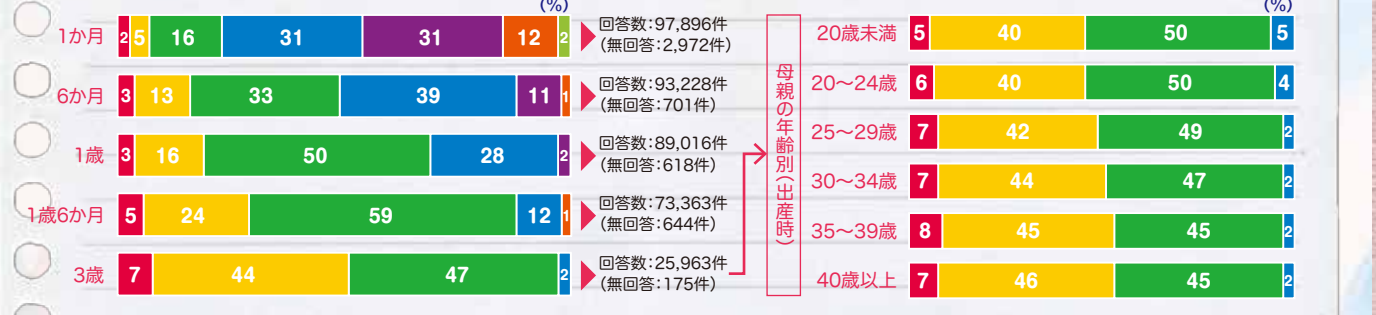
**稲村市長** あ、でもそういう子が昼寝すると夜寝てくれないから(笑)。ただこれはちょっと調節という工夫がいりますよね。うちも私の帰宅が夜遅いので、夫が早くから働いて夜は早めに帰ってきて娘と一緒に早く寝る、だから私は娘との触れ合いが少なく、今ではすっかりお父さんっ子です(笑)。

**島センター長** エコチル調査では私たちの身の回りにある化学物質などと子どもの健康との関係を調べることが大きな目的ですが、同時に、睡眠時間などの生活環境との関係についても調べて、未来の子育て環境の改善につながるような成果を出していきたいと思ひています。



## 赤ちゃん・子どもの睡眠時間は？

全国質問票集計結果 (出典：エコチル調査5周年記念シンポジウム) (注意) 2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。



兵庫ユニットセンター質問票集計結果 (注意) 2016年2月1日時点のデータに基づく暫定的な結果です。



エコチルひょうご 検索 URL: <http://www.ecochil-hyogo.jp>

掲載された記事は座談会のほんの一部です  
1時間におよぶ座談会の全容は  
エコチルひょうごホームページでご覧になれます！  
稲村市長様の楽しい子育てのお話しも交え、みなさんとたくさんお話ししました！ぜひ、ホームページをご覧ください♡♡♡



見に来てね!